



2024年9月11日

各 位

会 社 名 クオンタムソリューションズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長
Francis Bing Rong Zhou
(コード番号 2338 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経営企画室 富田 剛司
T E L 03-4579-4059 (代表)

(開示事項の経過) 2024年1月15日付開示 NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの 販売に関するお知らせ

当社では、ニュージーランド企業の MEGA Limited (以下「MEGA 社」といいます。)との NVIDIA 製 GPU 搭載サーバーの販売契約の締結に関して 2024年1月15日に適時開示を行って以降、3月8日及び5月21日並びに6月28日に、大要、以下の内容を適時開示してまいりました。

- ・2024年3月4日付で、当社は、MEGA 社と共同プロジェクト(以下「当該プロジェクト」といいます。)を進めているシンガポール企業(以下「シンガポールの別のエンドユーザー」といいます。)から10,080,000米ドル(以下「初回入金額」といいます。)の送金を受け、3月6日付で、仕入先に対して初回入金額に相当する商品分の仕入代金を支払った。
- ・3月13日付で、初回入金額に相当する商品について、米国サンフランシスコの日本通運の営業所にて監査法人の立会いのもとで MEGA 社に納品されて検収が行われ、MEGA 社向け販売(1回目)の仕入先への支払い、納品及び検収が完了した。
- ・5月9日付で、当社は、シンガポールの別のエンドユーザーから、MEGA 社向け販売(2回目)に係る販売代金残額の全額19,500,000米ドルの送金を受けた。
- ・5月10日付で、当社は、仕入先に対して、仕入代金の残額を支払い、これをもって仕入代金の全額を支払った。
- ・他方で、MEGA 社向け販売(2回目)の商品の納品先及び検収先は確定していなかった。
- ・取引内容変更等に伴い MEGA 社向け販売(1回目及び2回目)の売上高に関して、元々574百万円の計上を計画していたものが139百万円減額して435百万円となった。

その後の経過をお伝えいたしますと、5月21日付で、MEGA 社向け販売(2回目及び3回目)のすべての商品についてシンガポールのチャンギ空港の貨物ターミナルにあるシンガポールの別のエンドユーザーの倉庫にて MEGA 社に納品され、同日中に検収(※)が行われました。

なお、MEGA 社向け販売商品としてシンガポール空港へ輸送した GPU 搭載サーバーのうち、2回目の販売とは別の数台(3回目販売分)に関しては MEGA 社より精算時期を後にしたいとの要望を受けて、未販売品として納品先である倉庫で当社の在庫として保管しておりました。

※検収に立ち会ったのは当社職員1名とシンガポールの別のエンドユーザー職員1名の2名でした。シンガポールの別のエンドユーザーは MEGA 社のビジネスパートナーであり、当社としては MEGA 社とシンガポールの別のエンドユーザーを1つのグループと見なしております。本件検収作業に MEGA 社がシンガポールの別のエンドユーザー職員を派遣したことに 대해서는当社として特に干渉はしておりません。

その後、8月30日になって、当社の取締役であって当社の連結子会社 Quantum Solutions Asia Limited の代表者でもある TUNG Chun Fai（董駿暉）が、シンガポールの別のエンドユーザーより、電話にて未販売となっていた MEGA 社向け販売（3回目）に係る販売代金 840,000 米ドル（外貨取扱手数料等を控除した後は 839,991 米ドル）を国際送金する旨の意思の表明を受け、9月2日に当該資金が MEGA 社及びシンガポールの別のエンドユーザーではない両社の関係先から送金されてきたことから、当社では、国際送金の意思表示の電話連絡を受けた8月30日付にて MEGA 社向け販売（3回目）が完了したと認識いたしました。

なお、MEGA 社向け販売（1回目、2回目及び3回目の合計）の売上計上に関して、2024年6月28日に公表した2025年2月期通期連結業績予想に織り込んでおります。

また、当社では、MEGA 社向け販売（1回目、2回目及び3回目の合計）の売上計上に関して、2024年6月28日付開示資料「業績予想数値の修正に関するお知らせ」においては MEGA 社向け売上計上予定額を 435 百万円としていましたが、今回 MEGA 社に対する3回目の販売を含めまして2025年2月期第2四半期中に合計 436 百万円の計上を予定しておりますが、監査法人との協議中であるため確定しておりません。

(参考：当社のサーバー販売の状況一覧)

※本開示資料で示す本取引の変更内容は太枠で囲った箇所であり、変更点は下線表示で示しております。

販売先	エンドユーザー (A)	FUTURANEX TECHNOLOGY CO., LIMITED
開示日	2023年10月12日	2023年10月23日
売上高	—	—
入金予定日	—	—
納品・検収 予定日	—	—
納品先	—	—
業績計上の 見込み	—	—
特記事項	グローバル環境におけるエンドユーザーの調達方針の調整による遅延 なお、本案件はエンドユーザー (A) の在庫を右下のシンガポールの別のエンドユーザー (B) に振り向けましたが、エンドユーザー (A) において購買方針が固まったことからエンドユーザー (A) と継続して協議中。	2023年10月13日の販売契約締結以降、相手方からの発注がなく、商品確保のための手付金の請求をしておりました。しかし今に至るまで入金がなく、取引を中止することになりました。なお、当該取引について、当期(2025年2月期)通期連結業績予想数値に含めておりません。

販売先	MEGA Limited	シンガポールの別のエンドユーザー (B) (2023年10月12日付開示の販売変更先)
開示日	2024年1月15日	2024年3月6日
売上高	<u>436百万円</u>	—
入金予定日	<u>1回目:2024年3月4日に10,079,975USDが着金済</u> <u>2回目:5月9日に19,499,975USDが着金済</u> <u>3回目:9月2日に839,991USDが着金済。</u>	—
納品・検収 予定日	<u>1回目:2024年3月13日に完了</u> <u>2回目:2024年5月21日に完了</u> <u>3回目:2024年8月30日に完了</u>	—
納品先	<u>1回目:米国サンフランシスコの日本通運の営業所</u> <u>2回目:シンガポールのチャンギ空港の貨物ターミナルにあるシンガポールの別のエンドユーザー (B) の倉庫</u> <u>3回目:同上</u>	—
業績計上の 見込み	2025年2月期	—
特記事項	<u>2024年1月15日開示における本件販売に関して全て完了しております。</u>	本件販売に伴い2025年2月期において349百万円(監査法人と協議した結果、純額扱いとします。)の売上を見込んでおりましたが、当該売上の見込みはなくなりました。

以上